

分野Ⅰ 信頼され影響力を持つ能力（カウンセリング力）

No.11-1

逐語記録・事例報告の作成と 検討（1期）

シニア産業カウンセラーとしての心構えや倫理観、カウンセリング記録としての逐語記録と事例報告の意義を理解し、それらの適切な作成および検討の方法を身につけること、さらに自分や他のカウンセラーの逐語記録と事例報告について、お互いのカウンセリング力を高めるための質の高い分析やディスカッションができるようになり、自らのカウンセリング力を高めること。

1期：（本講座・1日間）

（1）講義：シニア産業カウンセラーの心構え、逐語記録と事例報告の意義、作成や検討の仕方についての概論等を学ぶ。

（2）グループ討議：指定の逐語記録と事例報告を事前に読んできたうえでディスカッションする。

2期：（1期修了後に受講可能・2日間）

3期：（2期修了後に受講可能・2日間）

※1～3期は、それぞれの期においてABCD評価され、それぞれC評価以上でその期が修了となる。

※1期、2期は修了後に次の期の受講が可能となる。3期修了後に本科目の修了証が発行される。

日時

2027年1月9日(土)
10:00～17:00

場所

オンライン（Zoom）
※パソコンやインターネット環境は各自で
ご用意ください。

定員・費用

18名（最少催行人数：10名）
資格登録会員16,500円（税込）
一般 18,150円（税込）

受付期間

2026年10月1日～10月10日
※定員を超える申し込みがあった場合は、
抽選となります。
※定員に達していない場合は、先着順で
募集を続けます。

申込方法

本部HPのシニア育成講座から
<https://www.counselor.or.jp/portals/0/senior/>

事前学習

受講の前に以下の図書および資料を読んで理解しておく。

(1)「産業カウンセリング実務必携 面接記録から事例検討へ」（必須図書）

(2)「産業カウンセリングケーススタディ2013
そうだ!相談に行こう!!」（必須図書）
ともに日本産業カウンセラー協会(編)

(3)事前に配布するレジュメ資料「逐語記録・事例報告の実際」

(4)事前に配布するレジュメ資料
「（No.11）受講にあたっての留意点」
そのほか、後述の参考図書についても余裕があれば目を通す。

講師

末武 康弘 先生
法政大学 現代福祉学部 教授